



グローバル・パートナーズ・テクノロジー 完全自動で、意図せずともバックアップ可能 優秀なコストパフォーマンスも採用の決め手

株式会社グローバル・パートナーズ・テクノロジー

株式会社グローバル・パートナーズ・テクノロジーは、グローバル・パートナーズ・グループのITコンサルティング部隊として、クライアントに最適な業者やITソリューションを選定し、企業のITの投資効果を最大化するための支援を行なっています。



坂本俊輔 代表取締役社長

グローバル・パートナーズ・テクノロジー
URL <http://gptech.jp/>

■現状と背景

PCデータを喪失する事象は何度か発生していたため、その対策として、ファイルサーバ内に、共有フォルダ領域とは別に各社員用の個別領域を設けて、自身のPCデータのバックアップをさせるようにしていました。

また、ファイルサーバとPCとの差分を抽出して、更新したファイルのみをコピーするコマンドを用いて、ワンクリックで簡単にバックアップを取れるツールも用意して、比較的簡単にバックアップを取れる環境は確保していました。

■課題

ファイルコピーコマンドによるバックアップは、たとえ更新ファイルが少なくても差分のチェック自体に時間がかかるため、ディスク内のファイル数が増えるに従って、処理完了までの時間が大きくかかるようになっていました。また、途中で処理を終了すると、再び最初から差分チェックを開始してしまうため、完了まで連続処理で行う必要がありました。当社では外出業務が多いのですが、処理時間が伸びてきたために、終日事務所内にいる場合しかバックアップを取れなくなり、運用上支障のある状況になってきていました。また、バックアップ先が社内に設置したファイルサーバであることも懸念事項の1つでした。災害時の事業継続性という観点では何の対処もできておらず、外部ストレージサービスの活用も考えましたが、バックアップ目的としては費用対効果が合わず、全く採用に値するものではありませんでした。

■AOSBOX選定のポイント

完全自動バックアップ、という製品コンセプトが採用の決め手となりました。従来の自動バックアップ製品は、あくまで特定のフォルダに限られたものでした。特定のフォルダにファイルを保管・移動するまでは手動作業が必要で、これでは自動バックアップとはいえないと考えていました。AOSBOXではPC内の全ファイルのバックアップが可能なので、逆にバックアップしないフォルダを指定し、バックアップ不要なファイルはそこに保管する、といった運用を行っています。

全ファイルバックアップを可能にするコストパフォーマンスも採用の決め手です。AmazonのGlacierという安価なクラウドストレージを使っている点もコストパフォーマンスがよい要因の1つと考えますが、データの圧縮率の高さも大変優れていると感じています。企業内でPCデータのバックアップを取る場合、複数の社員が同じファイルを保管していることが多々ありますが、AOSBOXでは、アカウント内の複数PCの中で同一のファイルがある場合には、1つ分のファイルしかバックアップを取らない仕組みになっていると聞いています。これらの技術の効果もあって、実際に保持しているデータ容量に対して、クラウドストレージに保管されているデータサイズは、非常に小さいものになっています。

■効果

AOSBOXの効果を実感できるのはデータ喪失時です。そもそも効果を実感できるような事態が発生しないのが望ましいのですが、運用開始10カ月後ごろに、PCが1台故障する、という問題が発生しました。

大半のデータはファイルサーバに保管済みだったものの、直近作成したファイルやメールデータは保管できていなかったため、AOSBOXのバックアップデータを用いて復旧しました。PCが故障した本人は、当初AOSBOXの存在を忘れていて、データ喪失したものと諦めかけていたぐらいの状況であり、本人が意図せずとも、自動で全てバックアップが取られているサービスの効果を実感できた事例です。